

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市人と動物との共生社会推進懇話会		
事務局 (担当課)		生活衛生課 電話 042-769-8347 (直通)		
開催日時		令和7年7月10日(木) 午後3時30分～5時		
開催場所		ウェルネスさがみはら5階 会議室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	5人(保健衛生部長、生活衛生課長、他3人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議 事 (1) 動物愛護センターの基本コンセプト、候補地の考え方、必要な諸室等について (2) 多頭飼育届出制度の運用状況について (3) その他		

審 議 経 過

委員の委嘱に続いて令和7年度第1回会議が開催された。

主な内容は次のとおり。

1 あいさつ

保健衛生部長あいさつ、委員の自己紹介、事務局から本会の所掌事項の説明を行った。

2 議事

(司会進行：高木会長)

(1) 動物愛護センターの基本コンセプト、候補地の考え方、必要な諸室等について

事務局から、資料に基づき説明

(大矢委員) 他自治体では、当初は十分だと考えていたサイズで諸室を作っても、整備後に広い部屋が必要になってしまうケースがある。しっかりと見通しを立て、将来的な業務量に合わせていくことが必要である。

また、今回の話は、施設の規模感や必要諸室についての話であったが、動物愛護センターの運営には相当の人員を要するため、合わせてマンパワーの検討が必要となる。

(高木会長) 将来的な予測は難しい面もあることから、設備に拡張性を持たせることも必要と考える。例えば、部屋の用途を限定しないことで、一時的な収容頭数の増加にも対応できるので良いのではないか。マンパワーについては収容数にも関わってくると思うが、ペットを飼うことが減ってくることによって、市が引き取って収容する数が減っていくのか、独身家庭や高齢家庭が増えることによって、やむを得ない理由により市が引き取って収容する数が増えていくのか、想定が難しい。

(石丸委員) 多頭飼育崩壊等への対応として、動物愛護センターがどのように収容機能を果たし、手術等の措置をするのか。整備後の運営面についても考えてほしい。また、多くの他自治体の動物愛護センターは土日休みとなっているが、収容動物の譲渡を促進したり、既存事業の譲渡面接会などの運用を考えると、どちらかは開館日とした方が良いと考える。

(山本委員) 適正飼養に係る啓発などにより、通常の引取り数や収容数は減ってくるかもしれないが、多頭飼育崩壊による引取り数は増えていると感じる。資料には犬15頭程度、猫50頭程度の収容とあったが、全体としてこれだけの想定では厳しいかもしれない。通常運営の時の収容場所、災害時の想定収容場所、何かあったときに一時的に入れられるスペース等含

めて収容を考えた方がよい。

(高木会長) 規模の想定は難しいところがあると思うが、最大限どの程度対応できれば良いと考えるか。

(山田委員) 災害時の収容数を想定して考えるといいかもしれない。

(高木会長) 過去の北海道の例では、発災直後は収容数がかなり増えたが、時間の経過とともに徐々に減ってくる傾向があるため、拡張性のある部屋や、様々な用途に用いることを想定した部屋を設けた方が良いかと思う。どのくらいの方が避難できるかにも関わってくる。

(山田委員) 資料P 17の諸室の中に手術室とあるが、資料P 23には野良猫の手術をセンター内で行わない方向といった記載がある。多頭飼育の収容の際などで手術室は必須であることから、専用でなくとも1つの手術室を設けて、野良猫の手術はセンターでも行える体制がよいと考える。

(事務局) 手術室については、狂犬病発生時における犬の解剖等にも必要であることから、動物愛護センターに手術室は必置であると考えている。しかしながら、公共施設マネジメントの考え方に沿い、不妊去勢手術実施時の助成金交付事業の継続による手術室の数、面積の抑制を検討する必要がある。多頭飼育崩壊の発生などの緊急時には、動物愛護センター内に設けた手術室で野良猫の手術を行うことは十分考えられる。

(山田委員) 狂犬病対策は隔離室だけでなく手術室も必要なのか。

(事務局) 死体の解剖及び検査用の検体採取に必要である。

(土屋委員) 動物愛護センターの整備、運営に必要な予算の措置などはどうなっているか

(事務局) 国の補助金や市債、クラウドファンディング、ふるさと納税など、様々な手法により一般財源の削減に努める。

(高木議長) こういったものは、予算を確保した後にその予算内で整備するというものではなく、こうした場で皆様と意見や情報を交換しながら、必要な施設設備を検討し、財源の見通しを立てながら進めていくのが一般的である。

(2) 多頭飼育届出制度の運用状況について

事務局から、資料に基づき説明

(高木議長) 多頭飼育届出制度の制定に係ったものとして運用できているのはうれしく思う。こんなに沢山いるのか、という印象である。

(大矢委員) これは飼育頭数の上限を規定するものか。

(高木議長) 上限でなく、6頭以上飼っている場合に届出を行うものである。

(山田委員) 適切に飼育されていないと判断された4例について、何頭くらい飼育

していたのか。また、不妊去勢手術をしていなかった飼い主について、これ以上増えてしまわないよう何か方策はあるか

(事務局) 犬及び猫のうち1例ずつは、これから立入調査を行う予定。調査を実施した犬の1例については、未手術のオス4頭及びメス6頭を飼っている方で、オスとメスを分けて飼養しており、今後繁殖させる予定はない、とのことだったので、このまま見守ることとしたもの。調査を実施した猫の1例については、山本委員に関わっていただいた。

(山本委員) この方は18頭の猫を飼育している。条例ができたので届出をただけという意識をお持ちだったので、飼養環境を確認させていただくことの理解を得るまでに時間を要した。不妊去勢手術をしていなかったもので、私が介入し、不妊去勢手術の実施に至った。

(高木議長) それは大変でした。

(山本委員) 飼い猫が増えてしまった人は、高額な手術費用が原因で、不妊去勢手術を諦めてしまうことがある。費用の目途が立ったとしても、数が多いと、捕獲・移動が大変であり、ボランティア等の支援が必要となる。

(山田委員) 相模原市では、猫についてはボランティアが支援する仕組みがあるが、犬については、まだこれからだと思う。

(高木議長) 制定した条例の効果が出ていると思うので、事例はまたご報告いただきたい。アメリカでは、不妊去勢手術は繁殖防止の目的だけでなく、動物倫理として生殖器疾患を減らす意味でも推奨されている。国内でも、今後そういう考え方が浸透することもあると思う。

(3) その他

(椿副議長) 人獣共通感染症であるSFTS、レプトスピラ症が県内で発生がされている。一部の業界からは、この問題を掘り下げることが飼育率の低下、ペットを手放すことにつながるのではないかと懸念もあり、調査が進まない側面がある。人と動物の共生社会を目指すという意味では、獣医師、愛護団体、その他関係団体、行政がどう関わるか、委員の意見をお聞きしたい。

(大矢委員) 私の団体は動物園の動物に関わっているが、動物種に応じた業界組織があり秩序が守られているように感じる。同様に犬にも業界団体があるが、猫の業界団体というのは聞いたことがなく、とりまとめ役がない状況。猫から人に感染するSFTSについても、犬から人に感染する狂犬病のように制限や制約が必要かもしれない。

(高木議長) 国の審議会でもSFTSは話題に上がっていない。話題に挙げるのがいいかもしれない。体感では国民がSFTSについてかなり不安を感じ

ているように思う。我々獣医師の中でも、猫の診察を断ることはできないが、一方で自身を守りたいという葛藤を抱えている者もいる。

(大矢委員) 動物取扱者の研修などで、人畜感染症をテーマに取り上げ、動物の管理する側の意識を高めるのがいいかもしれない。

(土屋委員) どこでSFTS、マダニの発生等の情報を集めることができるか。

(椿副議長) レプトスピラ症は、家畜伝染病予防法において家畜保健衛生所への届出が義務付けられた感染症なので、全国の状況を確認することができる。SFTSは、人だと4類感染症予防法に基づき保健所に届出があるが、動物の発生での情報を集める手段は現状ない。なお、市内発生はまだない。

(土屋委員) 10年ほど前に、ペット可のマンションについて、タクシー運転手がトコジラミを持ち込んで大変なことになったが、同時にそういった建物の風評被害が起きるのもよろしくないため、どこかでそういう情報を把握しておいてほしい。

(大矢委員) マダニについてはメディアが取り上げたことで周知された。ダニ予防でシャンプーが必要との記事だったと記憶している。

(山本委員) 緑区は自然が多く、外猫の保護については手袋等で保護するようにはしているが、やはり気になるところはある。

以 上

相模原市人と動物との共生社会推進懇話会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	高木 哲	麻布大学	教授	出席
2	椿 直哉	一般社団法人 相模原市獣医師会	会長	出席
3	山田 佐代子	公益財団法人 神奈川県動物愛護協会	会長	リモート 出席
4	大矢 秀臣	全日本動物輸入業者協議会	会長	出席
5	田村 久司	相模原市自治会連合会	理事	欠席
6	櫻井 正孝	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	福祉推進課 地域支援係長	欠席
7	石丸 雅代	たんぽぽの里	代表	出席
8	山本 和子	相模原市動物愛護推進員		出席
9	土屋 百合子	公募市民		出席